

自分から登園・登校する子どもになってほしいと願う  
保護者・支援者のみなさまへ

親の対応が変われば  
子どもがこんなにも  
変わるんだと  
実感しました。  
小6、小3(兄弟)の保護者より

「1日学校で過ごせたよ。」と  
嬉しそうに家に帰ってくる  
姿が見られるように  
なりました。  
小2の保護者より

# ポジティブな登校支援 「園・学校へ行きたくなる」 “しかけ”作り

## “しかけ”作りは、「てんびんの法則」で考える

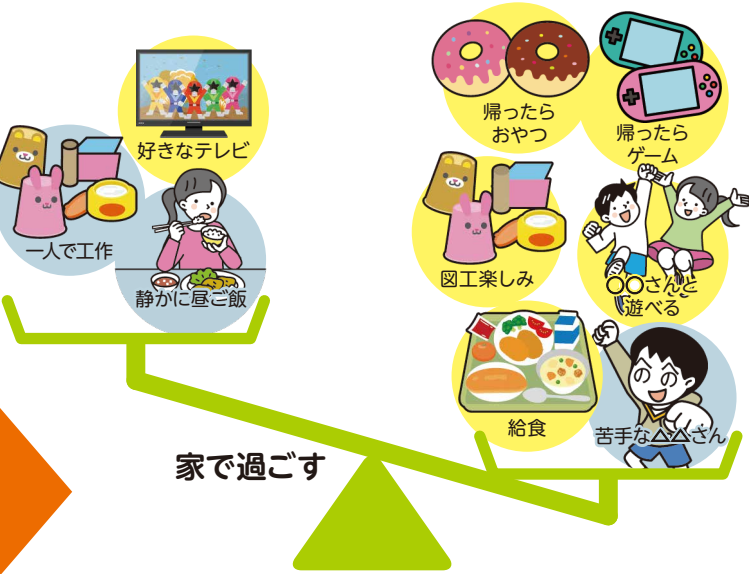
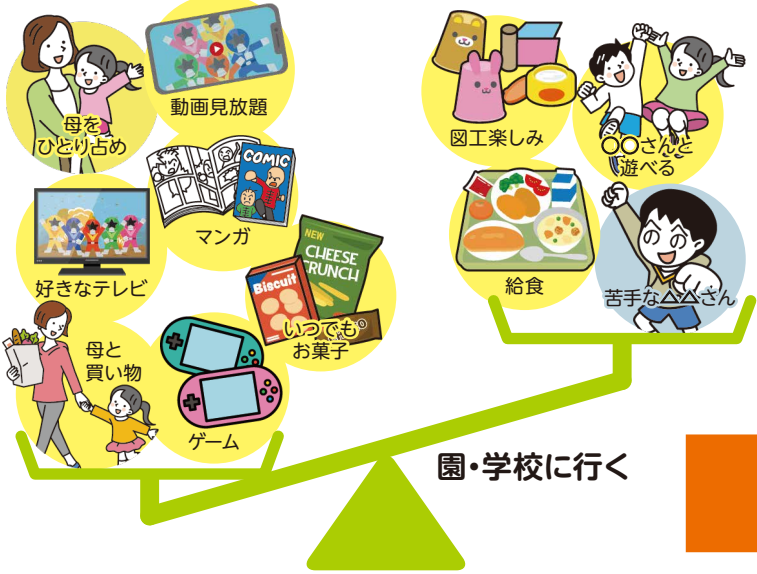


子どもにとって **いいこと** **嫌なこと** を表しています。



園・学校を休みたがる子のてんびんの例

元気に園・学校に行ける子のてんびんの例



家が好きなことであふれ、てんびんが「家で過ごす」に傾いています。

学校へ行った時のみ、好きなことができるような“しかけ”を作り、てんびんの傾きを「園・学校に行く」に傾けます。休んだ日に何をしているかを観察すると、てんびん作りのヒントが見つかります。

【引用】奥田健次(著) 叱りゼロで「自分からやる子」に育てる本. 大和書房  
奥田健次(著) メリットの法則. 集英社新書



この“しかけ”作りを「**ポジティブな登校支援**」と呼んでいます。  
ポジティブな登校支援は、不登校の子どもたちの生活習慣を整え、登校を促す支援方法です。  
子どもの状況に合わせて、学校や家庭での過ごし方を考え、子どもの同意の下で登校に導きます。  
\*「ポジティブな登校支援」は不登校児に対する支援方法の1つです。

詳しくは、  
二次元コードから



# ポジティブな登校支援の要は保護者・支援者の「覚悟」!!

- 保護者・支援者に「学校と協力して登園・登校させたい」という確固たる思いがある。
- 登園・登校したくないという子どもに、冷静な態度で接することができる。
- 休んだ日に、保護者・支援者が家庭で見守ることができる。
- 保護者・支援者全員が共通理解した上で、一枚岩になり一貫した方法で取り組む。
- 子どもが成長するまでは保護者・支援者が先導する。



「覚悟」の上、  
取り組むことで

こんな状況のお子さんが  
登園・登校できるようになりました★



## [過去の事例より]

- ✓ 登園しぶりがある子
- ✓ 遅刻して給食から登校している子
- ✓ 保護者に言われしぶしぶ学校へ行っている子
- ✓ きょうだいで休んでいる子
- ✓ 別室登校や保健室登校をしている子
- ✓ 朝になると体調不良を訴える子
- ✓ 園・学校を休んで家で好きなことをしている子
- ✓ 不登校の原因が見当たらない子
- ✓ 常に自分の要求が優先されてきた子



## 支援の手続き



- ① 園・学校を休んだ時間に何をしているか、1週間ほど細かく記録する。
- ② 記録をもとに、学校へ行きたくなる“しかけ”を作る。
- ③ “しかけ”にもとづいて、支援を行い、目標に対する記録をとる。
- ④ 記録をもとに、“しかけ”を再考しながら、支援を継続する。

\*総合教育センターが“しかけ”作りをサポートし、登園・登校をめざす保護者・支援者と伴走します

ポジティブな登校支援を含む不登校の  
ご相談はこちらまで

徳島県立総合教育センター  
特別支援・相談課 教育相談担当

[受付時間] 平日9:00~17:00

☎088-672-5200

✉tokubetsushien@mt.tokushima-ec.ed.jp

注) ポジティブな登校支援を実施する際は、専門家の助言を受けてください

不登校のサポートに  
関する各種事業は  
こちらから



### ほっとスペース あせび

不登校やひきこもり傾向等にある中・高校生などに、センター内外でスタッフと共に体験活動やレクリエーションを実施し、「ほっ」とできる心の居場所を提供

### ライフサポーター 派遣

学校に行きづらく、ひきこもりがちな児童生徒の家庭や別室登校をしている児童生徒の学校に、臨床心理学を学ぶ大学院生を派遣し、悩みや不安の解消に向けて支援

徳島県立総合教育センター 特別支援・相談課

〒779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏東谷1-7

徳島県教育委員会  
令和7年2月作成

■このパンフレットは、学校法人 西軽井沢学園 理事長 奥田健次氏が監修しました。